

CONTENTS

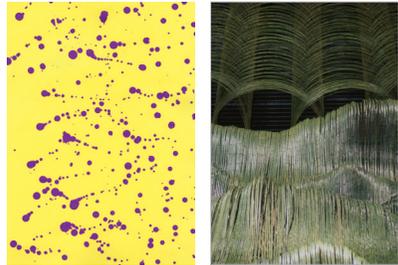
No.269 2021年8月号 草月指導者連盟機関誌

Newsletter

- 01 Keep Right on Talking!
No.77
- 02 Review
- 04 One Two Step 26
- 05 Information

34 29 26 24 22 18 17 9 8 7 4 2

だから、おしゃべりはやめられない 第77回
家元継承20周年記念勅使河原茜展むすぶ
家元継承20周年記念第102回草月いけばな展「マイ・ストーリー」私の花語り」開催決定！
支部活動報告／東京西支部展
百花万葉
学校いけばな
勅使河原茜の花「緑と遊ぶ」
家元個展「ひらく」開催告知
没後20年企画 勅使河原宏の言葉と花 ⑨
レビュー 二つの小宇宙ーめぐりあう今ー／創造の空間2021 TOKYO
七夕のフラワーク／勅使河原宏「これが前衛だ」
没後二十年記念アートを越境するー勅使河原宏という天才
インフォメーション 本部教室／草月WEST
カレンダー



表紙・画＝勅使河原茜
表紙・写真＝勅使河原宏作品「うねる竹空」
(撮影：久保将一)
表紙デザイン＝N.G.inc.
印刷＝東洋紙業株式会社
制作協力＝丸紅フォレストリンクス株式会社



発行日＝2021年8月2日 編集・制作＝草月文化事業株式会社 出版部 編集制作室 発行＝一般財団法人草月会
〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21 TEL＝03-3408-1154 FAX＝03-3405-4947 E-mail＝members@sogetsu.or.jp

草月指導者連盟

WEB家元講習会

Sogetsu
Teachers Association
WEB IEMOTO SEMINARS

《家元継承20周年記念 特別プログラム》 勅使河原茜 デモンストレーション

配信期間

[日本語版・英語字幕版]

10月11日(月)～12月11日(土) (予定)

2020年からスタートした「WEB家元講習会」。
これまで、「クリスマス花」「正月花」「春の花」と3つのプログラムを配信してまいりました。今回は家元継承20周年を記念し、家元一人による特別プログラムを配信します。貴重な家元デモンストレーションを心ゆくまでご覧いただける、今回限りのスペシャルな内容です。
詳しい内容は『草』10月号にてお知らせしますので、お楽しみに！



【出演・監修】勅使河原茜家元

【受講料】5,000円(税込)

【内容】機関誌『草』10月号およびホームページでご案内します。

【視聴方法】スマートフォン、パソコン、タブレットなど、インターネットに接続できる環境をご準備のうえ、スタートガイド(『草』2月号同封)をご覧ください。草月指導者連盟メンバーズサイト内でもご案内しております。
※お支払いはカード決済のほか、銀行振込、草月会館会員サービス、草月WEST窓口でもできます。
カード決済以外の場合は、入金処理まで1週間程かかることもありますのでご了承ください。

動画配信サイトによる「WEB家元講習会」とは

スマートフォンやパソコンなどのインターネット環境があれば、いつでもどこでも好きなときにご受講ができる新しい講習会方式です。また、一度購入したプログラムは配信期間中は何度でも繰り返しご覧になれる、一時停止や早送り・早戻しもできます。

視聴方法がわからない方へ、本部がサポートします！お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

の8月号が皆さんのお手元に届くのは、既に猛暑の盛りになっていくところでしょうか。まだまだマスクが手放せませんが、どうぞ熱中症や夏バテに気をつけてお過ごしください。

さて私は今、7月1日から4日まで草月WESTで開催された家元継承20周年記念の個展「むすぶ」を、ちょうど終えたところです。実は関西で個展を開催するのは今回が初。会場も色々検討はしましたが、やはり草月WEST、

だから、おしゃべりはやめられない

勅使河原茜

空間を変貌させる力

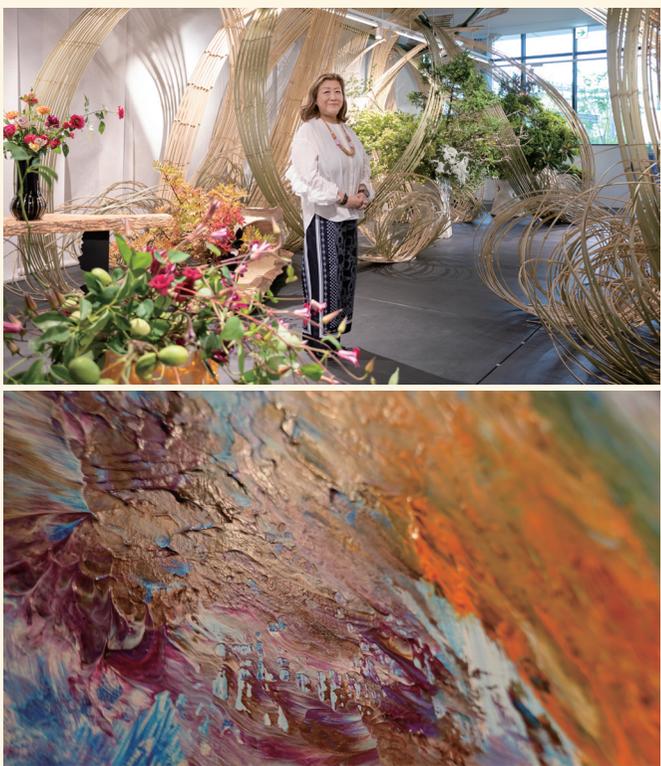
アーチでお出迎えし、うねるような竹の波へと繋げました。このように竹をカールさせたいときは事前に巻いてくせをつけておくのですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から1ヶ月の延期を経ての開催となったため、今回はこの期間が想定外に長くなってしまいました。しかし、これが大正解。よりふんわりとした丸みが出て、緑の色合いもやわらかくなったことから、まるで竹に包み込まれ、

ているような優しい空間にすることができました。また、夏の展覧会というのも、私にとっては比較的珍しいこと。花材もガラリと変わりますから、それも含めて工夫を凝らしました。中作はあえてグリーンの花材のみにして夏のみずみずしさを演出。逆に小品は花材も花器も色とりどりにし、思いきり楽しくいけました。小品のガラス花器はすべて今年の3月に群馬のガラス工房で制作した

自作花器です。これまでは、「ガラスでこんなデザインは無理だね……」と、遠慮していた部分もあったのですが、今回は事前のデッサンからかなり大胆に攻めていきました。そして、本当にその通り、いえ期待以上のものが完成し、きちんと希望を伝えることの大切さを改めて学びました。個展では当然のことながら自分の作品しか並びませんが、いろいろな作品をどう並べるか、空間とのバランスなど、様々な計算が求められます。そのため、いつも以上に気負いや不安もありましたが、私は事前にガチガチに決めるのは好きではありません。花材、花器、空間……と、その場での出会ったものと対峙しながらいけることが、まさにいけばなの面白さであり、醍醐味だと思っているからです。先代の宏も常々「決められたものをやるほど、つまらないことはない」と言っていました。もちろん立場上、花材も花器も余裕をもって揃えられるからこそ、こういったことも可能になるわけですが、仮に条件が限られていたとしても、私はきつとその場で一旦頭をゼロにしてから考えようとするでしょう。だからこそ、今回も自分自身が満足し、皆さんにも喜んでいただける内容になったのだと思います。

初日にはインスタグラムでライブ配信も行ったため、遠くはケニアやブラジルから見てくださいる方もいて、私もとても嬉しく思いました。そして、なにより喜んでくださったのが、ふだん草月WESTに通われている方たちです。「いつもの教室が、こんなふうになるなんて!」と、感嘆の

がベストだという結論に至りました。この場の特長のひとつが、フレキシブルであるということ。受付も可動式になっており、机などを取り払えば非常にシンプルな空間になるようデザインされています。私もオープン時や家元研究科などで何度も訪れているにもかかわらず、天井が広々と高く、まっさらになった空間を目にした瞬間、一気に創作意欲を掻き立てられ、新鮮な気持ちで制作に臨みました。まず力を入れたのは竹のインスタレーションです。竹の



今回の個展に向けてドローイングの制作にも挑戦。アクリル絵の具を使い、さまざまな太さの筆やTシャツの切れ端、時にはチューブから直接描くスタイルです。BGMに嵐を爆音でかけながら(笑)、一人黙々とキャンバスと向き合いました。Photo (上): Naoki Fujioka

声をたくさんいただきました。そう、花には空間をこれだけ変貌させる力があるのです。草月WESTという場は、広さといい、高さといい、非常に展示に向いていると改めて感じました。今後、皆さんにも、展覧会、イベントなどにどんな活用していただきたいと思えます。

そして私は今秋、東京でも草月会館の裏手のアトリエで個展を開催します。今度はどんな空間にしようかと、早くも胸の高鳴りが止まりません。どうぞご期待ください!



家元継承20周年記念

勅使河原茜展 むすぶ

2021年7月1日～4日 / 草月WEST

植物に包み込まれる空間

関西で初の家元個展「勅使河原茜展 むすぶ」が開催。草月WESTが一変し、植物に包み込まれる空間へ変貌した。

メインとなったのは竹のインスタレーション。会場入り口のアーチが来場者を誘い、そして会場内ではうねる割竹が空間を包む。また注目されたのが、本展のために制作された家元による自作のガラス花器。ぼらや、てっせんといった花がリズムカルにいけられた。そして今回初の挑戦がドローイング。アクリル絵の具の自由な色使いが会場のアクセントとなった。古木と鉄を組み合わせた展示台や、壁面に和紙を使用するなど、会場全体がひとつの作品として楽しめるよう、随所に家元のこだわりが見られた。

会期中は家元が在廊し、訪れる方との対話を楽しんだ。「いけばなによって人と人との気持ちがつながり、心が解き放たれますように」。家元のおもいが伝わる展覧会となった。

家元継承20周年記念

第102回草月いけばな展

「マイ・ストーリー ～私の花語り～」開催決定！

2021年11月11日(木)～12月10日(金)

10:30～17:30 (入場は閉場の30分前まで) ※各期2日間、9期制

草月会館 (1階草月プラザ、2階談話室) 《入場無料》

主催：一般財団法人草月会 監修：勅使河原茜

【同時開催】勅使河原茜展「ひらく」2021年11月12日(金)～17日(水)

[家元メッセージ]

花はいけたら、人になる。

勅使河原蒼風のこの言葉の通り、いけばなは私たちの心のかたちそのものです。

花を通して私を見つめ、私を知り、花を介して私を表現する。

この営みの繰り返しが花をいけることなのだと思います。

息苦しい今だからこそ、作品の中にあなた自身を存分に解き放ってほしい。

植物が映し出す皆さん一人ひとりの物語を心から期待しています。

草月流家元 勅使河原 茜

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となる草月いけばな展は、感染拡大予防策を徹底し、安全に配慮しながら開催することとなりました。

また、2021年は家元の継承20周年にあたる年です。これに伴い、特別エリア(家元作の花器にいける)や、コロナ禍を考慮した写真いけばな等を設けます。草月会館別館アトリエでの家元個展とともに、2021年の終わりを明るく、そして華やかに、いけばなで彩りましょう！皆さまのご参加とご協力を、心よりお願い申し上げます。

●募集内容

『草』6月号(P.25)で告知しております通り、すでに出品募集は締め切っております(募集期間：7月8日～7月21日)。ただし、花席によってはまだ募集をしていることでもありますので、ご興味のある方は事業課までお問い合わせください。

[応募要項] 事業課まで請求、もしくは草月メンバーズサイト内で配布しておりますので、ダウンロードしてください。

[資格] 草月指導者連盟会員(2021年度会費完納の方)

[作品形態] 個人作 ※合作は応相談

[出品料] 席種によって異なる

[賞の授与] 新人賞、家元継承20周年特別賞の2種類を授与予定

詳細は「応募要項」をご覧ください。

※会期や内容は変わることがあります。また、天災及びその他不可抗力による事由により、草月いけばな展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。

お問い合わせ [事業課] TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp



(右上) 会場入り口には割竹のアーチが。さらに奥へと続く。 Photo: Naoki Fujioka
(右下) ドローイングをバックにいけられた作品。枯れた「かえんぼく」の線が美しい。
(左) ウィンドー作品。丸竹は節が見えるように切られ、断面が強調されている。

いけばなには、
人と人とを結ぶ力があります。
いけばなには、
人の心を開いていく力があります。
家元継承からの20年という年月は、
たくさんのかげがえのない経験を通して、
いけばなが持つこの貴い力を
少しずつ学んでいくための時間だったように思います。
不安に揺れる状況の中、
いけばなによって人と人との気持ちがつながり、
心が解き放たれますようにと願いを込めて、
明日への一步を踏み出したいと思えます。

勅使河原 茜

「勅使河原茜展 むすぶ」をさらに楽しもう！

① 3Dオンラインビューイング/草月流ホームページで公開予定。会場を360度パノラマカメラで撮影した静止画を公開します。

② イメージムービー/ホームページ、SNSで公開予定。

③ 季刊『草月』/9月1日発売の秋号にて個展を大特集。

今年11月、東京での家元個展が開催！

詳しくは22～23ページをご覧ください。

百花万華

HYAKKA-MANYO

世界ボートジュニア選手権大会

2019年8月7日～11日
東京(江東区) / 海の森水上競技場
林雅水・林舞水 他5名



日本文化を感じられる屏風型の土台に割竹をあしらひ、50以上の国と地域、5000人以上の若手選手を、いけばなで迎えた。

小田原城アートNOW 2019

2019年6月1日～23日
神奈川(小田原市) / 清閑亭・旧黒田長成邸
上原瑞光



松の木肌についた「うめのきこけ」を花材として使用。霧吹きなどで水を含むと緑に光るこの苔は注目を集めた。

G20にて迎え花

2019年9月3日～12日
JRホテルクレメント徳島
新田陸嘉



G20開催者からの依頼で、参加外国人の皆さまが宿泊するホテルに迎え花を徳島らしく藍染やすだちを使った。

CMでいけばな

2019年夏放映
カルピス100周年記念CM「お盆」
大谷美香



母娘の心の交流を描くCM。「まったく花を習っていない田舎の60代の母が素朴にいける花」という監督のお題にこたえて。

しめ縄飾りワークショップ

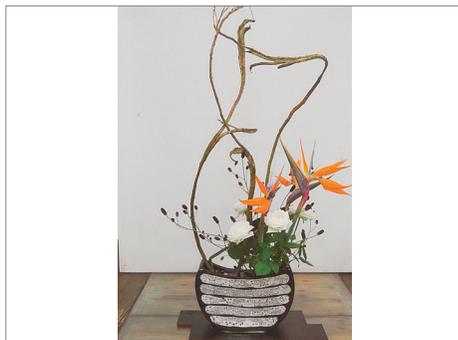
2019年12月15日
千葉 / 株式会社ZOZO会議室
指導: 大園芳雪



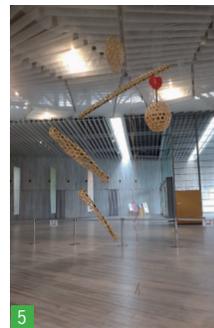
企業のクラブ活動で、社員さんがしめ縄飾りを制作。ドライフラワー等も素材とし、個性豊かな作品が生まれました。

宮崎山形屋 玄関花

2019年10月7日～13日
宮崎山形屋
坂元清草



デパートを訪れるお客さまの心がなごむように、また季節を感じてもらえるようにという思いでいけた。



1 勅使河原茜家元作品。
2 久保田芳生支部長の作品。
3 高木水染さんらによる合作。
4 大久保雅永さんの作品。
5 江口玉枝さんらによる合作。
6 樋口翠翔さんの作品。
7 会場まで足を運べないメンバーやエリア外の在籍メンバーにも支部展に出品するチャンスを感じてもらえるよう、宅配便で作品を会場に送る「送付席」として募集した席も加わっている。

7本の竹火山が広がる家元作品は、水を湛えた鉄水盤にたいさん木、あせび、どうだんつづじなどがいけられ、その爽やかな風情は見る人にひとときの涼を感じさせた。

支部のインスタグラムでは、今回の出品作品すべてが紹介されている。(@sogetsuko/yonishi)

国営昭和記念公園内の多目的施設、花みどり文化センターにて、家元出品のもと東京西支部展が行われた。25年に及ぶ同公園とのご縁から、コロナ禍においても全面的にバックアップしてもらえ、感染症対策に適した開放的な施設であったことも幸いして、今回も共催という形で華やかに開催することができた。小品・中作・吊り作品・壁作品など、バラエティ豊かなラインナップが並ぶ順路を進むと、その終わりには家元による大作が待っている。

公園と協力しながら

東京西支部展

いまだからこそ…熱く！(家元出品)

2021年7月9日～11日
花みどり文化センター

所沢市華道連盟展

2020年10月17日・18日
埼玉/所沢市民文化センター ミューズ
草月11名 写真作品:金田紫星



コロナ禍で様々な催しが中止になる中で開催された。参加人数は半分にしたが、心を込めた作品で大盛況に。

保育園児のいけばな教室

2020年10月13日
徳島/めだか保育園
指導:出村丹雅草



保育園に通う5歳児26名に毎月1回いけばな体験を開催。とても楽しみにしているようで、作品に集中している。

サミットへの迎え花

2020年10月29日~11月1日
岡山/倉敷本通り商店街
小林青亭・甲怒青修



市で行われた中核市サミットに倉敷へ合わせて会場付近に迎え花を制作。関係者、観光客、地域の皆さんに喜ばれた。

コロナにも負けず 第43回紅の会社中展

2020年10月17日・18日
東京/港区麻布支所
池澤紅陽社中14名



コロナ禍で麻布支所恒例のふれあい祭りは中止となったが、支所のご厚意で作品を展示できた。通算43回目となる。

車中で社中展

2020年11月1日~23日
石川/のと鉄道車内
角翠瑛社中12名



コロナで行き場のなくなったフォックスフェイイスを沢山いただき、地元ローカル線の網棚を利用した社中展を開催。

総合文化祭

2020年11月1日~3日
宮崎/小林市市民体育館
八反幸洲



三密を避けながら、検温・消毒を行って開催。来場者に花の魅力でコロナに負けない元気を届けた。

さどわら驛21会生花部

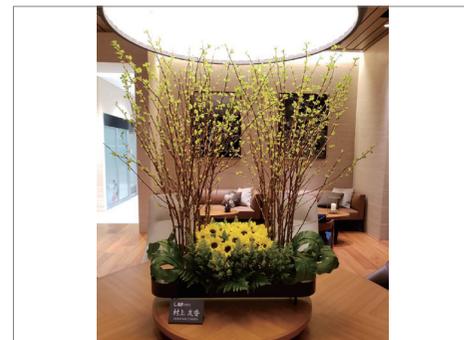
2020年8月1日~31日
宮崎/JR日豊本線 佐土原駅構内
清武陽草・樋口南草 写真作品:樋口南草



猛暑続きの中、ほおずきを使った作品を展示。ほおずきは人気で、「きれいですね」と声をかけられた。

レクサスのショールームを彩る

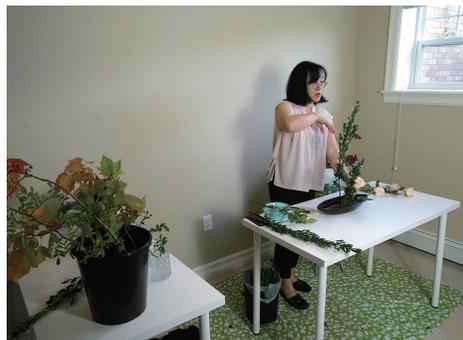
2020年4月2日~14日
愛媛/レクサス松山城北
村上友香



レクサスショールームのラウンジに制作。「日本が、そして世界が元気になるように」と、ひまわりに願いを込めて。

Zoomでデモンストレーション

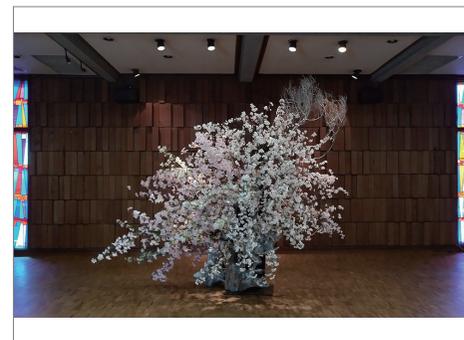
2020年9月29日
カナダ/St. Mary's University (Zoom)
Miyako Ballesteros 虹都



毎年大学で行っている日本文化を学ぶ学生たちへのデモを今回はZoomで。質問も多く、熱気が伝わってきた。

アートにエールを!

2020年9月1日~
東京都・「アートにエールを!」ホームページ
横井紅炎



東京都が公募した、芸術文化活動へのコロナ対策支援事業に参加。桜の大型オブジェを制作した動画を公開した。

床の間にいける

2020年10月~4週間
神奈川(小田原市)/清閑亭
徳安興社中 写真作品:今里聖佳



コロナ禍で閉館していた清閑亭の再開を応援する趣旨で開催。「床の間にいける」をテーマに制作した。

高谷敏正陶展 with 草月

2020年9月29日~10月4日
兵庫(神戸市)/GALLERY北野坂
大向佐都・古川丹萌・堀田丹順



2回目となる陶芸家の高谷敏正さんとのコラボレーション。高谷さんからの提案により、みつまたのみで制作した。

第59回札幌花供養祭

2020年11月8日・9日
北海道／札幌駅前通地下歩行空間
下川原陽子・戸田東亜子



例年ホテルで開催される花供養祭。コロナ禍のため地下歩行空間で開催され、道産花材を使った各流派の作品展示も。

平安神宮献花会

2020年11月7日・8日
京都／平安神宮額殿
草月3名 写真作品：(左から)山本寿香・坂田寿文・田中由寿



25流派代表による献花会。のびやかな線をいかした秋の華やかな作品で、七五三参詣の場に彩りを添えた。

テーマは「Wishing Tree」

2020年11月14日～2021年1月10日
アメリカ／Descanso Gardens in L.A
北島蓉幸&L.A Men's class



強風で倒れた樹齢1000年の大木の作品に、来場者がピンクのタグに願い事を書いて結んだ。メディアの取材も。

山形市芸文協総合展覧会

2020年11月11日～15日
山形美術館
山形県支部山形地区役員一同



各流派が大作を1点ずつ出品。草月は力強い作品で魅せた。コロナ禍で展覧会が少ない中、多くの来場者が訪れた。

中学生作文コンクール表彰式のステージに

2020年11月17日
福岡／冷泉閣ホテル川端 大広間
山口松苑



「家族をテーマに、コロナ禍でも家族の絆はかけがえない強いものだ」と訴える作文に元氣と華やかさを添える花に。

駅の地下広場にいける

2020年11月15日
岡山駅地下広場
岸本啓洋社中



中止になった市の花展の代替として駅地下のショーケースに展示。狭く、難しい場所だったが、社中で楽しくいった。

表彰式会場にいける

2020年11月3日
長野／須坂市文化会館メセナホール
黒岩千景・松澤芳美・村石かず子



市より依頼をされ、文化の日の表彰式会場に祝い花を制作。依頼者・受賞者の方々からたいへん喜ばれた。

まるがめ文化芸術祭

2020年11月2日・3日
香川／丸亀市生涯学習センター
草月6名



市内の池坊・小原流・嵯峨御流・華月流・遠州流・一正流・草月流の師範以上が出品。コロナ禍で花の力を感じる花展に。

「帯屋捨松×有職組紐道明」展

2020年11月6日～8日
京都／帯屋捨松本店
辻扇花



帯と組紐の展示会に、織物の連続柄をイメージしていける。主催者より「かっこいい」お客様に好評との声が。

かけはなてん

2020年11月5日～10日
東京／京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター ブリッジギャラリー
いけばなグループ「ふあり」& 伝統文化子ども教室 指導：北村青霞



通路壁面全体に展示。花器はすべて個人の手作り。子どもたちが花材の調達を行い、展示場所も自ら決めていった。

テーマは「自由ないけ花」

2020年11月7日・8日
広島／福山市光公民館
草月5名



コロナ禍のため、展示物だけの文化祭が開催。花材、花器、いけ方も自由とし、思いがけず楽しい作品が生まれました。

動画配信：親子で作るクリスマスリース

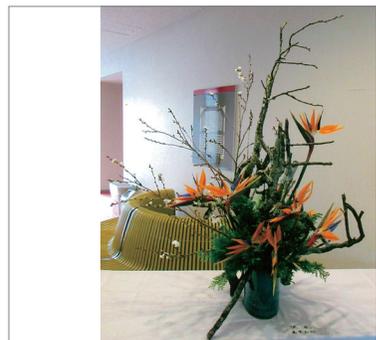
2020年11月7日
東京(港区)／生涯学習センター「まなび屋」
平嶋英宝・永井未宝



毎年開催している親子教室を、コロナ禍のため今回は動画で配信。初めて動画撮影に参加し、7時間ほどかかった。

第1回福井県文化芸術祭

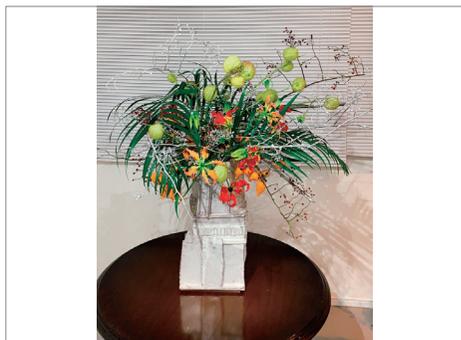
2020年11月28日
福井/フェニックス・プラザ 小ホール
木下虹樹



県の文化発展向上のため、第1回福井県文化芸術祭が開催。吾梅、寒桜を使ったおめでたい作品で来場者を迎えた。

オンラインでデモンストレーション

2020年11月28日
東京(中央区)
前田早苗社中



コロナ禍でヨルダンの草月会員愛好者と繋がりを深めるためオンラインでデモを実施。祝い花3点を披露した。

スノーフラワー展示会

2020年11月28日・29日
千葉(市川市)/スノーフラワー妙典教室
スノーフラワー全クラス 堀江祥雪



コロナ禍で例年参加している文化祭が中止に。代わりに自宅教室でミニいけばな展を開催。日ごろの成果を発表した。

ホテルに迎え花

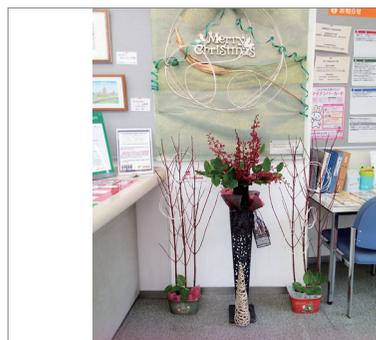
2020年11月28日・29日
長野(上高井郡)/樹一客殿
高野緑花



味噌蔵などを移築・改装したホテル。「本来なら我が家にお泊りいただくべきですが」というサービスの理念に沿って。

シールドが張られた中でのクリスマス展示

2020年12月1日~25日
大阪/豊中東泉丘郵便局
神武祥染



恒例の展示だが、今回はシールドが張られた中での制作。一人で行う、短時間で作業を終わらせるなど、気を配った。

病院に花を飾る

2020年11月30日~12月2日
東京(渋谷区)/日本赤十字社医療センター
今村草玉・木皿草枝



恒例の日赤華道展が中止になった代わりに……といけばなを院内に飾り、病院を訪れる人に癒やしと希望を届けた。

ふじさわ宿交流館華展

2020年11月21日・22日
神奈川/藤沢市ふじさわ宿交流館
伊東香恵



藤沢華道協会主催による展覧会。鉄花器にグリーンが映え、楽しくいけることができた。

地元の素材を使って

2020年11月18日・12月18日
石川県西田幾多郎記念哲学館 地下ホール
一宮葛樹



石川県女性県政会議中能登地区大会にて。地元で織られた生地を後ろに流し、県木のアテ(能登ひば)などで構成。

初めての個展

2020年11月22日・23日
富山/アートギャラリー栄
菅原瑛天



顧問昇格を記念し、個展を開催。10点の作品中、5点は同じ花材・花器を使用。壁作品や天井から吊る作品なども。

日種ピアノ教室発表会 ステージ花

2020年11月22日
福井(美浜町)/生涯学習センターなびあすホール
松永清泉



ソーシャルディスタンスを保ちながらの発表会となったが、ステージ花で華やかな雰囲気になった。

再発見!!「いけばなの魅力」展

2020年11月27日~29日
熊本/福田病院 地域文化交流館「寿心亭」
上村春洸社中



純和風建築の建物で社中展を開催し、場に合わせた作品計30点で構成。新聞にも取り上げられ、多くの人が訪れた。

まちなみアート my made 豎小路

2020年11月27日~29日
山口/十朋亭維新館
山口県支部 山口グループ



山口グループ4名で、明治維新の志士たちが寄宿した豪商の萬代家の玄関、茶室などに出品した。

● 学校いけばな

芸術祭

富山県立呉羽高等学校
指導：立野藍

2020 9/11



4月に新入部員を7名迎え、和気藹々と活動しています。芸術祭では、1年生は花型法、2年生は自由花、3年生は大作に挑戦。皆充実の表情でした。

様々な活動を

神奈川県立逗子高等学校
指導：的場光芳

2019年度



活動日は年間で25回。4月の入学式の花をはじめ、文化祭、学校説明会ミニ花展、卒業式の花など、様々な活動を行いました。

ミニ花風の写真をよ!

女子美祭

女子美術大学付属高等学校・中学校
指導：児玉紫世

2020 10/24 ~25



2020年度の華道部は、夏休み明けからスタートしました。中学校の新入部員も含め、全員で2点の大作を制作。特別な女子美祭となりました。

華道部オンライン動画

東京(北区) / 女子聖学院
指導：牛久保翠吏

2020 10/9 ~16



コロナ禍により従来の記念祭ができない代わりに動画を撮影。後日、華道部の稽古の様子、高校生による合作制作の風景をオンラインで配信しました。

生の植物でリース作り

東京 / 足立区立梅島第一小学校
指導：小林泉華

2020 12/12



12月の教室は生の植物を使ったリース作り。柳で土台を作り、ひば、スターチス、さんざい、松かさ、オーナメント、リボンなどで立派に仕上がりました。

みんな真剣だね

文化祭に大作を

大分 / 日本文理大学附属高等学校
指導：佐倉洋佳

2020 10/30



文化祭で、学校の裏山で採れた葛を使った大作を5分で完成させるパフォーマンスを行い大好評でした。音楽に合わせて3作同時に行ける試みも。

「飯山に生きる」の組み写真とコラボ

2020年12月3日～5日
東京 / 大田区民ホールアブリコ
草月7名 写真作品：平山菊洸



写真は、夫の写真とコラボレーションし、大地に根を張って生きる女性を、女性のシンボルである赤を基調に表現した作品。

第3回月翠会いけばな展

2020年12月3日～5日
佐賀 / 岡田三郎助アトリエ・女子洋画研究所
佐賀県支部 月翠会 写真作品：山下彩映



月翠会の役員を対象とした研究会の発表会。1人2作(クリスマス花と正月花)を制作し、地元テレビにも出演した。

クリスマス花

2020年12月11日～14日
福井(鯖江市) / 春典教室(真覚寺本堂)
指導：藤井春典



写真は、ザビエル画の絵葉書より発想を得た作品。社中の会員の畑で実ったすずめうりが、作品にやわらぎを添えた。

花で元気になろう「クリスマスの花」

2020年12月5日～20日
茨城 / ヨークカルチャーセンター日立
日立草月流有志9名



コロナ禍の中、カルチャースクールの生徒さん、買物客の方々に花で安らぎを感じてほしいという気持ちで制作。

音楽ライブでデモ

2020年12月12日
栃木(宇都宮市) / 若竹の杜 若山農場
竹内双芽・本山夏桜 他



即興ジャズユニットSaxophoneさんの音楽ライブに、いけばなのデモと竹のインスタレーション制作で参加した。

京都・嵐山花灯路

2020年12月11日～20日
京都嵯峨・嵐山周辺一帯
花崎陽文



京都いけばな協会による「いけばなプロムナード」。10ヶ所に各流派の代表が展示し、花灯路のお客さまを迎えた。

緑と遊ぶ



つるりとした黄色い面とユニークな形が特徴の花器。
せいやとちのきの線を大胆に斜めに伸ばし、グリーンとの鮮やかな色の対比を楽しみました。
This vase is characterized by its smooth yellow surface and unique shape.
I boldly stretched the lines of the horse-chestnut diagonally, enjoying the vivid color contrast with the greens.

花材：せいやとちのき、菊 花器：陶器花器 サイズ：76×85×72cm
Materials: Horse-chestnut, Chrysanthemum Vessel: Ceramic vase



セロームの葉とハンギングヘリコニアの交わりの面白さを、空間との妙で見せた作品です。
燦々と降りそそぐ夏の太陽をめいっぱい浴びながら。

This work shows the interesting interplay between the leaves of the Philodendron selloum and the heliconia as an exquisite relationship with the space. While soaking up the brilliant summer sun...

花材：セローム、ハンギングヘリコニア 花器：陶器花器（勅使河原宏） サイズ：66×77×90cm
Materials: Philodendron selloum, Heliconia Vessel: Ceramic vase (Hiroshi Teshigahara)



力強く、不思議な魅力をもつ実付きのこぶしの枝。その線を自由に這わせながら、中心のユーカリと、静寂さを湛えた花器で引き締めました。

This branch of Northern Japanese magnolia has a powerful yet mysterious appeal. I let its lines roam freely, but tightened the work by using the Australian gum in the center and a vase filled with serenity.

花材：こぶし、ユーカリ 花器：陶器花器（あらたにみさ子） サイズ：100×154×108cm
Materials: Northern Japanese magnolia(bearing fruits), Australian gum Vessel: Ceramic vase



ふといの直線的で軽やかな線を、花器とからませながら立体的にいけました。真紅のけいとうを添え、かわいらしさと色のアクセントを。

I arranged the straight, light lines of the bulrush by intertwining them with the vase to emphasize the three-dimensional effect of the work. It was then garnished with a crimson cockscomb for a debonair touch of color.

花材：ふとい、けいとう 花器：陶器花器 サイズ：34×27×32cm
Materials: Bulrush, Cockscomb Vessel: Ceramic vase

勅使河原茜展 ひらく

20th Anniversary
Akane Teshigahara
Solo Exhibition
"RELEASE"

いけばな草月流 家元継承20周年記念

2021年11月12日(金) - 17日(水) 草月会館別館アトリエ

〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-27 10:30 ~ 17:30 (入場は閉場30分前まで)

主催：一般財団法人 草月会

お問合せ：草月会事業課 TEL: 03-3408-1156 / FAX: 03-3405-4947 / E-mail: kikaku@sogetsu.or.jp

チケット販売は、草月流ホームページおよび『草』10月号でお知らせいたします。

※天災及びその他不可抗力の事由により、本展の開催を延期・中止する場合がございますので、予めご了承ください。





没後20年企画

勅使河原宏の言葉と花 ⑨

表現方法

としての技術は、あくまでも技術であって、ものをつくるという以上、そこに作者である自分の心の動きが参加しているかどうかを、たえず自らに問いかけることを怠ってはならないはずである。むしろ、創造的な行為とは、学びとったものを全部捨て去り、新たな一回性に挑んでいくものだ。

Project for the 20th Memorial of the Third Lemoto

April 2021 marks the 20th year since the death of the third Lemoto, Hiroshi Teshigahara. We introduce the "Words of Hiroshi". Let's unravel where his unconventional and unique way of thinking came from.

Techniques as a method of expression are just techniques, and as long as we are creating something, we should be sure not to neglect the creative side, always to keep on asking ourselves whether or not our own emotions as the creator are woven into it. A creative act should involve rejecting all we have learned and facing up to some utterly unexpected creative path.

2021年4月に没後20年を迎えた第三の家元・勅使河原宏。

草月の大きな遺産である「宏の言葉」をお届けします。

常識にとらわれないその発想はどこから来るのか、読み取りましょう。

勅使河原宏 いけばな作品

枯れひまわり、大王松、

ふうせんかずら

陶器花器(あらたにみき子)

撮影・藤森武

kebana work by

Hiroshi Teshigahara

Sunflower, Long-leaf pine,

Balloon vine

Ceramic vase

Photo: Takeshi Fujimori

勅使河原宏の年表

1982年

初めての竹のインスタレーションを発表。多摩地区草月展の《空間・青と白》では丸竹を、そして資生堂アートハウスで制作した《竹人》では竹割りの手法を初めて用い、その後の竹のインスタレーションに直結した作品となる。竹との出会いは、福井の陶房で暮らす日々から生まれた。しなりながらも豪雪に耐える竹に強い印象を抱き、海からの大風に動く竹を巨大な生き物のように捉えた。



《竹人》撮影・安齋重男

(次号へつづく)

二つの小宇宙

国立劇場令和3年5月特別企画公演
『二つの小宇宙—めぐりあう今—』
『変化と人間と—羽衣伝説—』
5月22日
国立劇場

現代的な要素を取り入れた新しい視点による伝統芸能公演にて、家元が舞台美術を担当した。



舞台上の家元作品。しやれ木や流木で骨格を作り、たいさん木、けむりの木などがつけられた。
国立劇場提供、二階堂健撮影

継承20周年を祝って

家元継承20周年記念
草月いけばな展
創造の空間 2021 TOKYO
6月23日～7月30日
草月会館

家元継承20周年記念行事「創造の空間 2021 TOKYO」が開催された。家元からは次のメッセージが寄せられた。「コロナ禍により様々な活動が制限される中で、そんな今だからこそ、創造することをあきらめずチャレンジして



(左) 杉岡香妙さん、杉岡宏さんの作品。(右) 澤田晃映さんの作品。

七夕飾りで彩る

七夕のフラワーク
7月1日～4日
ホテルエミオン京都

家元個展が開催されたホテルエミオン京都にて、家元によるフラワーク作品が展示された。七夕が近い時期とあって、作品には竹、そして色とりどりの短冊が飾られた。ホテルの宿泊客からも大変好評で、癒やしの場となっていた。



一階吹き抜けのスペースには竹火山が。
Photo: Naoki Fujioka



(左) ホテルフロント階にて。(中) ホテルエリアのエレベーターホールにもユニークな花器にかけた作品が。(右) 笹屋伊織店舗内の作品。

ほしいとの思いから企画した展示会です。その言葉通り、草月プラザ、談話室、そしてエントランスには多様な空間をいかした作品が展示され、創造する喜びに溢れた展示会となった。
※全作品がホームページに掲載されています。



▲草月会館



▲草月WEST



(左) 高木水染さん、小林水蘭さん、千石如創さん、橋本桜里さん、橋本静順さん、Várhelyi 水晶さんの合作。(右) 前田早苗さん、木幡悠峰さん、坂本香凜さん、中山紫奉さん、橋爪千峰さんの合作。

没後二十年・映画祭

勅使河原宏「これが前衛だ」
6月1日(配信)
ドミューン

没後二十年記念
アートを越境する
— 勅使河原宏という天才
6月5日～18日
シネマヴェーラ渋谷

勅使河原宏の没後初となるメモリアル映画祭「没後二十年記念アートを越境する— 勅使河原宏という天才」がシネマヴェーラ渋谷で開催された。宏の手掛けた映画・全作品を上映ということで、長年



ドミューンのスタジオにて。左から樋口尚文さん、宇川直宏さん、武満真樹さん、内藤由美子さん(シネマヴェーラ渋谷支配人)、森直人さん、吉田伊知郎さん。



篠崎洵雅さんの作品。



隅出美泉さんの作品。



江口玉枝さんの作品。

のファンから初心者まで大勢が詰めかけ、連日満席と大好評だった。またそれに先駆け、ライブストリーミング番組ドミューンにて「勅使河原宏「これが前衛だ」」が配信された。映画評論家などが勅使河原宏を語りつくし、魅力を再検証した。20代の視聴者が多く、この番組をきっかけに映画館へ足を運んだ人も。



(左) 初日には作曲家でピアニストの高橋悠治さんによるトークショー。高橋さんは宏の映画音楽に携わった。(右) ロビーには当時のポスターが。

家元研究科

毎回テーマが設けられ、いけばなをさらに深く追究することを目標とします。感性と技術を磨く最高の勉強の場です。AT賞選考対象クラス。

	金	土	月	テーマ	講師
	14時/17時	10時30分/14時	10時30分/14時		
9月	10日	11日	13日	シンプルな投入花器で (花器の持ちこみ可)	日向洋一
10月	15日	16日	11日	ガラス花器にいける	家元

●申込方法：新入会をご希望の方は、TEL・FAX・E-mailで事前にご連絡ください。毎月の受講は、日程・時間をご確認の上、ご来館ください。●受講料：12,200円(花材費込み) ※受講日に草指連会員証をご持参ください。8月は休講となります。

家元教室

資格を問わず、どなたでもご参加いただけるいけばな教室です。ワンレッスン受講することもできます。

9月	火曜	7日	隅出美泉	14日	中村草山	21日	岡崎 忍
	木曜	2日	坂口水恵	9日	篠崎洵雅	16日	加藤久美子
10月	火曜	5日	中村草山	12日	加藤久美子	26日	隅出美泉
	木曜	7日	坂口水恵	14日	篠崎洵雅	28日	岡崎 忍

●原則として6日間(8月は3日間)、第1・2・3火曜と木曜 ●10時30分/14時/17時45分(各日3回開講) ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円(月3回分・花材費別) ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,440円・花材費込み/都度払い)。

男子専科

初心者からベテランまで、男性限定のいけばな教室。いけばな作家や男性指導者の育成をめざすクラス。随時受付。

9月	3日(金)	岩 淵 幸 霞	10月	1日(金)	澤 田 晃 映
	8日(水)	西 山 光 沙		6日(水)	岩 淵 幸 霞
	17日(金)	澤 田 晃 映		29日(金)	西 山 光 沙

●開催日は水曜1回、金曜2回 ●17時45分～19時30分 ●入会金：11,000円 ●月謝：12,040円(月3回分・花材費別) ※家元教室・家元研究科への振替ができます。 ※証書申請可能。 ※再入会金無料。再入会をご希望の方は事前にご連絡ください。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可(6,440円・花材費込み/都度払い)。 8月は休講となります。

インターナショナルクラス

外国の方を対象としたクラスです。授業は英語で行われます。

9月	6日	細 野 葉 霞	10月	4日	坂 口 水 恵
	13日	福 島 光 加		11日	石 川 己 青
	27日	石 川 己 青		18日	高 木 水 染
				25日	福 島 光 加

●毎週月曜日 ●11時～13時 ●受講料：4,140円/1回(花材費込み) ※証書申請可能 ※8月・祝日は休講となります。

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性がございます。予めご了承ください。開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、教室運営課までお問い合わせください。

世界の蘭を楽しむ

60th anniversary
蘭友会らん展 in サンシャインシティ
〜世界の蘭を集めて〜
5月27日～30日
サンシャインシティ 展示ホールA

「らんを楽しむことを通じて人の和を図る」「らんを守る・知る・伝える」ことを趣旨とし、世界中の多種多様な蘭の展示・販売などを実施するイベントにて、東京南支部によるいけばな展が開催された。



会場入り口に展示された、東京南支部の合作。エビンドラムなどが使用された。

オンラインでの会議

全国支部長会議
5月12日
草月会館

毎年恒例の全国支部長会議が開催。今年にはコロナ禍のため、オンラインでの会議となった。「困難な状況が続きますが、草月は常に未来を見つめてまいります」と家元からのエールが送られた。



会館には家元と財団理事、そしてモニターの向こう側には全国の支部長・副支部長が。右は代表で挨拶をする、福島県の大河原喜恵支部長。

草月文化活動支援基金への
ご協力ありがとうございます
2021年5月～6月に当基金に寄せられた寄付金は、
左記の通りです。(掲載は一万円以上、敬称略)
古家賀苑、福島夏蓮、喜多野瑛、平岡一光(ミツ)、梶野
恵秀、富山県支部 藹の会、山田草那、中田芳聖、佐藤新
泉、都築道子、藤倉清佳、中嶋梢霞
名誉会員任命について
一般財団法人草月会 理事としての長年のご貢献に対し
て、6月18日、矢部桂秋師範は家元より名誉会員に任
命されました。

訃報

- 川崎久実子(青秋) 東京都/理事
二〇二〇年九月 享年七十七歳
- 浅沼治代(華春) 岩手県/理事
二〇二〇年九月二十八日 享年百四歳
- 一鬼紀子(靖紅) 福岡県/顧問
二〇二二年四月九日 享年八十四歳
- 田中萌美(萌美) 東京都/理事
二〇二二年五月五日 享年八十七歳
- 長谷川章子(流泉) 新潟県/理事
二〇二二年五月十三日 享年八十七歳
- 古賀ミサ子(恵琇) 佐賀県/顧問
二〇二二年六月二十四日 享年八十九歳
- 黒川愛子(湧翠) 埼玉県/理事
二〇二二年七月五日 享年八十二歳

公開講座

普段のお稽古ではなかなかチャレンジできない内容で創造性を大きく伸ばすチャンス！
経験豊富な講師の講義で、知識と技の引き出しがさらに広がります。

受講日	テーマ	講師	内容
9月11日(土)	楽しくアート作品を創作	 丹野霞園	粘土を既成概念ではなく、逆転の発想により、作品工程の中に取り入れ、石膏作品を2つ以上作成し、それぞれの作品を1個のオブジェとして完成させます。 又、それらを花器としていけばなをいけることにより、新しい自分を発見してみませんか。 今回の様々な工程から、今までの概念を別の方向から考えることにより、チャレンジする面白さを実感できるでしょう。是非お楽しみください。
10月13日(水)	同一線上に、植物と鉄はあり、作品へ	 中田和子	植物と鉄に対峙するときに必要な姿勢は同じです。 表現するには、いかに発想し、花材、素材の自分なりの魅力を発見することが大切だと思います。 まずは、使用する扱いやすい薄い鉄板を切ったり、曲げたり、ゆがめたり、ときには傷つける等して、その可能性を探ります。 そして、植物と鉄で作品を制作します。 各自の個性にあふれた植物と鉄の魅力を発見しましょう。
11月13日(土)	「瞬発力」の世界 —発想力を養い、 “新しい自分”を発見—	 石倉松清	長いコロナ禍で、生の植物を手にする機会が激減した今、「いけばな」を真摯に見つめ直すチャンスかもしれません。 今回は自分の中の「ひらめき」と「展開させる力」とをあわせ、さらなる作品の可能性について探究します。 造形する知恵、変化する技術、そして“新しい自分”の表現を発見する時間を、植物と向き合いながら楽しみましょう。

- 授業時間：11時～16時 ●受講料：12,970円（材料費・昼食代込み）／入会金なし
- 申込資格：草指連会員 ●定員：30名 ●募集：随時受付中。郵便振替または会員サービス部窓口でお申込みください。
[郵便振替口座] 口座番号：00180-6-119808 / 加入者名：(一財)草月会 教室運営課 ※払込取扱票の通信欄に(お持ちの方は)メールアドレスをご記入ください。
- 申込締切：開催日の1週間前（ただし定員になり次第締め切ります） ※お申込み後のキャンセル・ご返金はいしつかねます。
※お申込み後でも、翌月以降（年度内）に振替受講が可能です。ご希望の方は、受講日の10日前までにご連絡ください。
それ以降のご連絡の場合、実費（材料費および昼食代）をいただきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

お知らせ 第10回AT賞展

2002年に芭家元の家元継承を記念し、家元のイニシャルより命名し創設された「AT賞」。
家元研究科の在籍者の中から、最終選考を経た13名の受賞者が研鑽の成果を発表します。
●日時：9月10日(金)・11日(土) 10時～17時 ●会場：草月会館1階プラザ ※入場無料
●お問合わせ[教室運営課] TEL: 03-3408-1209 / FAX: 03-3405-4947
E-mail: kyoshitsu@sogetsu.or.jp



第9回AT賞展の様子

本部教室のLINEアカウントができました！最新情報をお届けします。

[友だち追加方法] ●QRコードから LINE アプリで「友だち追加」→「QRコード」を選択し、右のQRコードを読み取ってください。



家元研究科

講師からはテーマは出ません。受講者自らが考え、自由に植物表現を探究します。新入会・再入会大歓迎。AT賞選考対象クラス。※当面の間、金曜夜クラスを休止し、土曜夜クラスを追加いたします。

	金曜	土曜	探究「私の花」 私はなぜ花をいけるのか？ 私が目指す植物表現とは？ 私が追究したい素材は？ 自由花って何？ 自分がすべきことは何かを受講者自ら考え、草月らしく自由に楽しく新しく、植物表現を探究しましょう。それを積み重ねてゆくことでそれぞれの「私の花」がより輝きます。講師が今の「私の花」を受講者に披露するデモンストレーションもあります！！	講師
	14時30分	10時30分 / 14時30分		
9月	17日	18日	家元	
10月	15日	16日		
11月	19日	20日		

- 申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。●受講料（家元）：12,200円（花材費込み）／（本部講師）：10,100円（花材費込み）※授業開始の20分前から受付を開始します。※当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため受講人数を制限しております。

2021年4月より入会金、再入会金が不要となりました！

家元教室

毎回テキストのテーマからの2作、講師のデモンストレーションがあります。たっぷり勉強できる充実の2時間。土曜日14時30分からの家元教室は、オンラインでも受講できます！

9月	金曜	10日	片山 健	24日	加藤久美子	10月1日	中田和子
	土曜	11日	〃	25日	〃	10月2日	〃
10月	金曜	8日	五十野雅峰	22日	中田和子	29日	中村草山
	土曜	9日	〃	23日	〃	30日	〃

- 月3回 金曜・土曜 ●金曜（14時30分 / 18時30分）、土曜（10時30分 / 14時30分） ●入会金：11,000円 ●月謝：11,000円（月3回分・花材費別） ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ※証書申請可能。 ※月3回受講することが難しい方はワンレッスン受講も可能（4,500円・花材費1,700円 / 都度払い）。 ※見学可能。

2021年4月より再入会金が不要となりました！

公開講座

ご希望のクラスを1回ごとにお申込みできる魅力ある講座です。
講師の個性がいかされたテーマにチャレンジできます。ぜひご受講ください。

受講日	テーマ	講師	内容
8月24日(火)	ワイヤー de アート —白ワイヤーを編む—	 平石丹珠萌	ワイヤーと植物でアーティストティックなレリーフを作ります。 日頃花材を留めているワイヤーが今回の主役です。 #24と#28の白いワイヤーを使って編んでいきます。 網目で疎密を考え美しく仕上げ、黒のボードにモノトーンで仕上げてよし、植物をプラスしてコントラストを楽しんでもよいでしょう。
10月5日(火)	秋色を集めてライトアップ —雑木と合わせて—	 澤田晃映	雑木を組みその隙間を利用して秋色を入れていきます。 各自がマーベリングした行燈用の用紙や色紙などを張り込みます。 完成したら、ライトを仕込み、光と融合させます。 その後は、花器と合わせたり、壁にかけたりと楽しみ方は広がります。

- 授業時間：13時～16時 ●受講料：4,400円（花材費別） ●定員：20名 ●申込方法：はがき・FAX・E-mailなどの書面で、希望日・名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連会員番号をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ●申込締切：開催日の前々週の週末

※日程、講師は変更になることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響や、天災及びその他不可抗力による事由により、開講を延期または中止する可能性があります。予めご了承ください。開講予定や申込受付等に変更が生じた場合は随時告知いたしますので、草月流ホームページをご確認いただくか、草月WESTまでお問い合わせください。

草月WESTオリジナルクラス 花の達人への道 — 「総合篇」 10月開講! 受講生募集!!

「草月WEST」へ場を移しさらに幅広く実践することができるようになった人気のクラスが、10期目の今期、よりパワーアップいたします!
『達人』への道を着々と歩んでいる方も、これから『達人』を目指して歩み始める方も、着実にステップアップできます。今期は「総合篇」として、よりスペシャルな授業内容となります。
エスコートするのは、片山 健師範と杉岡宏美師範。
リラックスした雰囲気の中、的確に導いてくれるいつものお二人です。
開講日も日曜日の午後のまま、リピーターも多く、魅力ある講座です。
もっと知りたいこと、もっと極めたいこと、ちょっと苦手なことにもチャレンジできます!!
この機会に、思いきって参加してみませんか?

すべて
“日曜日”
開催

受講日	講師	テーマ
10月 3日(日)	片山 健	指導の達人 指導の楽しさとコツを学ぶ —“後ろいけ”を活用して
11月 7日(日)	杉岡宏美	季節花の達人 一秋色を意識する— 実ものや紅葉、 枯れもの等の魅力を様々な器で
12月12日(日)	片山 健	祝い花の達人 万年青を究める— 祝い花から自由な表現まで
2022年 1月23日(日)	杉岡宏美	枝の達人 枝もの三昧!— 釘やドリルなど留め方の 技術を駆使して
2月13日(日)	片山 健	空間の達人 「アートとの語らい」と空間 —草月WESTの変貌
3月13日(日)	片山 健 杉岡宏美	大作の達人 春をいけよう— ホテルエミオン京都を飾る—



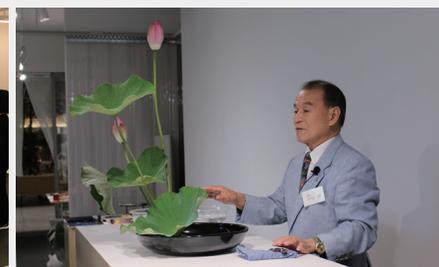
片山 健



杉岡宏美



授業風景



釘やドリルなど、留め方のテクニックを駆使して大作にも挑戦。右2点は作品例。

- 日時: 2021年10月から全6回コース / 原則として日曜日開講 / 13時~16時
- 受講料: 66,000円 (花材費込み)
- 受講資格: 草指連会員 ● 定員: 20名 ● 申込締切: 9月18日(土) (ただし定員になり次第締め切ります)
- 申込方法: 窓口またはハガキ・FAX・E-mailで、名前・雅号・住所・電話番号・資格・門下別・草指連番号を明記の上、草月WESTまでお送りください。

連続講座 「素材の冒険」 異質素材は怖くない! Part2

好評につき第2弾開講決定!
Part2 からでも参加できます!

好評につき第2弾を開講します。今回もさまざまな異質素材に出会い、自由自在にあらゆる素材を使いこなせるアイデアと技術を身につけましょう。講師は引き続き、素材をいかすアイデアのエキスパート岡崎 忍師範。Part2は、植物素材と異質素材の関係をより深く考える連続講座です。Part2からでもご参加いただけます。

お休みの回は
録画配信で
フォローします!

講師	受講日	テーマ
 岡崎 忍	9月~12月(全4回)	
	1 9月15日(水)	講師提案素材①「植物と異質素材の色」
	2 10月13日(水)	講師提案素材②「植物と資質素材の形」
	3 11月17日(水)	講師提案素材③「植物と異質素材の質感」
	4 12月15日(水)	異質素材で発表会 ~自分で見つけた素材~

- 授業時間: 13時~16時 / 2021年9月から全4回コース
- 受講料: 47,300円 (材料費込 / 第4回の発表会の材料費は含まれておりません) ※お休みされた回は、後日、授業で使用した異質素材を郵送するとともに、録画をオンラインで配信いたします。
- 受講資格: 草指連会員 ● 定員: 20名 ● 申込締切: 8月21日(土) ● 申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・草指連会員番号・住所・電話番号・メールアドレス・門下別を明記の上、草月WESTまでお送りください。

いけばな草月流がお届けする、アートと文化のオープンセミナー

SOGETSU X 第2弾

いけばなの可能性は無限です。そしていけばなも社会のなかで成立しています。さまざまなジャンルと草月流いけばながX(クロス)して新しいものが生まれます。コラボレーション相手に制限はありません。アートや工芸、そしてさまざまな面白いことをしている人・異業種・社会との交流企画で、化学反応のような新しい発見・体験をしましょう。

SOGETSU X No.2 スマホのカメラで探す植物の貌

スマートフォンでここまで撮れる!

<講師メッセージ>

今のスマートフォンに付いているカメラは万能です。「ある程度」という上限はありますが、対応力という点では高級な一眼レフより上かもしれません。そんなスマホを片手に「宝物探し」に出掛けませんか? 身近で見慣れた植物でも、ファインダー(この場合はスマホ画面ですが……)を通して見るだけで新発見がたくさんあります。

<講師略歴>

京都市に生まれる。武蔵野美術大学卒業。地形をテーマに世界中の風景を撮影する。おもな著書に、『GEOSCAPE JAPAN』『朝景夕景撮影のすべて』『長時間露出撮影のすべて』『京都撮影四季の旅』がある。現在、日本自然科学写真協会会員、ニコンカレッジ講師。

受講日	講師	内容
第1回 9月1日(水)	 みつし 竹下光士 (写真家)	【講義】 観るとのこと 写真のイロハ 【簡単実習】 スマホでどこまで撮れるか
第2回 10月20日(水)		【野外実習】 スマホを片手に野外で宝物探しに出掛けよう
第3回 11月10日(水)		【発表会】 お互いが見つけた宝物を講評を交えながら見比べて、「観る」ことについて考えます

- 授業時間: 13時~16時 ● 受講料: 16,500円 (3回分前納) ※第2回は草月WESTの近隣施設にて、野外実習を予定しております。その際の交通費・入場料などをご負担願います。
- 対象: 草月学習者 (ベテランから初心者までどなたでも) ● 定員: 20名
- 申込方法: はがき・FAX・E-mailなどの書面で、名前・草指連会員番号 (お持ちの方)・住所・電話番号・メールアドレス・門下別 (または所属教室名) をご記入の上、草月WESTまでお送りください。 ● 申込締切: 8月14日(土) ※授業ではスマートフォンのみ使用します。各自お手持ちのものをご持参ください。

支部展

神奈川県支部展「小さいけばな展Ⅰ～横浜・三井ホーム～」 ※モデルハウスを場としていける展覧会です 10月2日(土)・3日(日) tvkハウジングプラザ横浜 三井ホーム	篠田岳青	☎ 090-5418-1799
東京西支部 第25回「よみがえる樹々のいのち」展 10月26日(火)～11月28日(日) 国営昭和記念公園	久保田芳生	☎ 042-521-1434
長崎県支部展「私の花」 11月19日(金)・20日(土)／22日(月)・23日(火・祝)／25日(木)・26日(金)／28日(日)・29日(月) メガネのヨネザワ 浜町店2階	小島星女	☎ 090-5387-5985
神奈川県支部展「小さいけばな展Ⅱ～鎌倉・旧村上邸～」 ※古民家を場としていける展覧会です 12月3日(金)・4日(土) 旧村上邸～鎌倉みらいラボ	篠田岳青	☎ 090-5418-1799
東京北支部展「NEXT! ころを結ぶ花」 ※家元出品 2022年2月11日(金・祝)～13日(日) シアター1010	加藤湖昌	☎ 03-3996-4238

フラワーク

とらや赤坂本店	8月	8月27日まで	野村浩秋	赤坂見附
	9月	8月28日～9月28日	菊田汀佳	
	10月	9月29日～10月28日	佐藤容星	
ザ・キャピトルホテル東急		常設	杉岡宏美	溜池山王・国会議事堂前
赤坂エクセルホテル東急		常設	御手洗直己	赤坂見附
ホテルニューオータニ東京(ロビー階)		8月10日まで	竹中麗湖	赤坂見附・永田町・麹町
		8月10日～9月7日	久保島一超	
ホテルニューオータニ幕張(ロビー階)		9月8日まで	千葉県支部	海浜幕張
横浜ベイホテル東急(B1階神殿口)		常設	深澤隆行	横浜・みなとみらい
クロエクリニック青山		常設	杉岡宏美	青山一丁目
ホテルエミオン京都(笹屋伊織 別邸・3Fロビー)		常設	草月アトリエ	梅小路京都西
草月会館日本間 開場時間:初日は午後から、最終日は午前中まで		8月23日～9月3日	粕谷星華	青山一丁目
		9月6日～17日	前田早苗	
		9月21日～10月1日	岩淵幸霞	
		10月4日～16日	福永早苗	
		10月18日～29日	坂口水恵	

【草月会館土・日・祝日特別開館日】

草月会館の特別開館日は、以下の通りです。その他の土・日・祝日は、草月会館は休館しております。
9月11日(土)、10月16日(土)、11月13日(土)、12月11日(土)
草月WESTは月曜休み、祝日はオープンし翌営業日を休みとします。

【草月コレクションがご覧いただけます】

●「壺中日月長 大樋陶治斎の今様」展にて大樋陶治斎(十代大樋長左衛門)『吹墨飾りのある花器』が展示されます。
10月17日(日)まで 石川県立美術館(問:☎ 076-231-7580)

このページに掲載されているイベントは内容が変更になる場合がございます。本部にお届け済みのイベントが中止または延期となった場合は、広報部までご報告くださいますようお願い申し上げます。[広報部] TEL:03-3408-1158 / FAX:03-3405-4947 / E-mail:pr@sogetsu.or.jp

以下のイベントは中止または延期となりました。お出かけの際はご注意ください。

【延期】●大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2021(新潟県越後妻有地域) 7月25日(日)～9月12日(日) →2022年夏季 問:日向洋一 ☎ 045-311-6475

【中止】●宮城県支部展(せんだいメディアテーク) 9月4日(土)～7日(火) 問:三浦霞音 ☎ 022-226-8745

●東京北支部研究会(草月会館 5階教室) 9月12日(日) 問:加藤湖昌 ☎ 03-3996-4238

【一部延期】●家元継承20周年記念 草月いけばな展「創造の空間 2021 WEST」(草月WEST) 問:草月WEST ☎ 075-366-3647

5期:5月1日(土)～5日(水・祝) →8月5日(木)～9日(月) 6期:5月13日(木)～16日(日) →8月26日(木)～29日(日)

7期:5月20日(木)～23日(日) →9月2日(木)～5日(日) 8期:5月27日(木)～30日(日) →9月16日(木)～20日(月・祝)

年間行事予定

9月20日(月・祝)まで	家元継承20周年記念 草月いけばな展「創造の空間2021 WEST」(草月WEST内展示スペース「KOTOHA」「PANOF」) ※展示日程は断続的です。一部会期が変更になりました。詳細はホームページ、SNSをご覧ください
8月14日(土)～22日(日)	草月会館夏季休館日
8月26日(木)～9月1日(水)	LOEWEフレグランスシリーズ「ボタニカル レインボー」家元によるフラワーク (CASA LOEWE TOKYO / 東京都中央区銀座7-5-4)
9月8日(水)～30日(木)	草月の秋2021(玉川高島屋S・C) ※家元によるフラワークあり
9月10日(金)・11日(土)	第10回AT賞展(草月プラザ) 問:教室運営課 ☎ 03-3408-1209 ※2021年3月25日(木)・26日(金)より会期が変更になりました
10月1日(金)～10日(日)	勅使河原宏芸術祭(越前陶芸村各所) ※竹のインスタレーション制作、福井県支部による展示、ワークショップなどが実施されます 10月2日(土)家元によるデモンストレーション(越前陶芸村文化交流会館) 問:花プロジェクト部 ☎ 03-3403-5278
10月19日(火)	財団理事会(草月会館/11時～)
11月11日(木)～12月10日(金)	家元継承20周年記念 第102回草月いけばな展「マイ・ストーリー～私の花語り～」(草月プラザ・談話室)
11月12日(金)～17日(水)	家元継承20周年記念 勅使河原茜展「ひらく」(草月会館別館アトリエ)

本部主催支部研究会・講習会

富山県支部	8月29日(日)	研究会 富山県民共生センター サンフォルテ	大野珀水	☎ 0766-23-7651
群馬県支部	9月5日(日)	講習会 群馬県公社総合ビル	正木虹映	☎ 027-327-7624
山梨県支部	9月20日(月・祝)	研究会 山梨県立青少年センター	五味篤恵	☎ 055-253-1660
福岡県支部	10月30日(土)	講習会 パピヨン24ガスホール	片山紅早	☎ 092-843-1875
兵庫県支部	10月31日(日)	研究会 兵庫県民会館	大向佐都	☎ 079-492-8918
岩手県支部	11月7日(日)	講習会 プラザおでって 3階おでってホール	四役滋陽	☎ 019-623-5548
佐賀県支部	11月23日(火・祝)	講習会 ほほえみ館	田中樹音	☎ 0952-98-2091
広島県支部	2022年2月20日(日)	研究会 広島市南区民文化センター 3階大会議室	山上晶絵	☎ 084-943-5676

各地の展覧会

第27回 長崎原爆資料館献花～平和への祈り～	8月8日(日)～10日(火) 長崎原爆資料館	小島星女	☎ 090-5387-5985
「グループ青葡萄」展	9月3日(金)～5日(日) コクラヤギャラリー 3階	野口彩華	☎ 095-826-0802
「本部特別技術講師 秋松伸一の講座」1期生展覧会	9月15日(水)～18日(土) 草月プラザ	教室運営課	☎ 03-3408-1209
4クローバーズ「ホテルにいける! 秋色のかぜ」	9月18日(土)～20日(月・祝) ホテルプリランテ武蔵野 ※5月2日(日)～4日(火・祝)より会期が変更になりました	佐藤青幹	☎ 080-1350-5113
佐倉洋佳と仲間達 hanaシリーズ No.4「木+hana展」	9月23日(木・祝)～26日(日) さいき城山桜ホール	佐倉洋佳	☎ 090-5020-8703
桃和会展「想いをつないで」	10月2日(土)・3日(日) 川口緑化センター樹里安	堂前桃扇	☎ 090-6494-1868
森林公園 Harmony with Nature 「トゥーランドットXIV」2021	10月8日(金)～2022年1月14日(金) 国営武蔵丘陵森林公園 中央口より カエデ園内	金田紫星	☎ 04-2923-8150
第67回 草月星秀会展	10月9日(土)・10日(日) 富山県民会館 地下展示室	岡崎忍	☎ 076-437-4100
2021 宮下透翠個展&グループ翠SUI展	10月20日(水)～24日(日) セントラルミュージアム銀座	宮下透翠	☎ 03-3395-6822
第4回 耀の会いけばな展	10月23日(土)・24日(日) 北日本新聞ギャラリー	立野藍	☎ 076-421-9610
第22回 大澤秀紅社中展	10月30日(土)・31日(日) 三島商工会議所 TMOホール	大澤秀紅	☎ 090-3305-0995
出村丹雅草グループ「うだつ 藍と花」	10月31日(日)～11月14日(日) 藍商佐直 吉田家住宅 ※5月30日(日)～6月13日(日)より会期が変更になりました	出村丹雅草	☎ 090-4500-0595
井上佐芳社中展「はじまりの時」	11月19日(金)～23日(火・祝) 五台山 竹林寺	井上佐芳	☎ 088-865-5575

[news] WEB IEMOTO SEMINAR for Sogetsu Teachers Association vol.4

< Special Programs >

Iemoto Special Demonstration to mark the 20th Anniversary of the Succession

The WEB IEMOTO SEMINAR started in 2020. Since then, three streaming videos have showcased the exquisite artistry and technique of Iemoto and the Master Instructors of the Sogetsu HQ.

This Autumn, we will release the "Iemoto Only" streaming video to commemorate her 20th anniversary of the succession. Don't miss this memorial program and enjoy her exciting and meticulous demonstration to your heart's content.

The details will be announced in October issue "So", Sogetsu official website and SNSs. Please stay tuned!



Streaming period October 11 (Monday) - December 11 (Saturday) (subject to change)

*English subtitles version available

*You can watch any video(s) purchased as many times as you like during the streaming period.

[Overseas Affairs Department, Sogetsu Foundation]
E-mail: overseas@sogetsu.or.jp FAX: +81-3-3405-4947

Information

"Sogetsu Ikebana 1-2" in Chinese (written in simplified Chinese along with Japanese)

The text book "Sogetsu Ikebana 1 - 2" in Chinese has been published. If you are interested in purchasing a copy, please contact the Publications Department.

The textbook card is attached on the back cover of Textbook. Price: JPY2,000

How to order Chinese Textbooks from overseas

Download the order form from Sogetsu Website.
https://www.sogetsu.or.jp/e/columns/24438/
Fill in the necessary information and send it to Sogetsu Shuppan (publishing department) by e-mail or fax.
E-mail shuppan@sogetsu.or.jp
FAX 81-3-5770-5607

草月教科书 1 & 2 中文版现已发售 (简化汉字)

随着华语国家草月流学习人数的增加,草月教科书 1 & 2 的中译本已经出版。如果您需要购买该书籍,请联系草月出版社。

本中文版教科书附带学时卡。
单价: 2000 日元

如何从海外订购教科书

从草月官方网站下载订购表:

https://www.sogetsu.or.jp/e/columns/24438/

填写必要信息,通过电子邮件或传真将其发送到草月出版部邮箱。

电子邮箱: shuppan@sogetsu.or.jp 传真: 81-3-5770-5607



Information

< Calendar of Events 2021 >

Iemoto 20th Anniversary

Celebration Sogetsu Exhibition

Space of Creation 2021

Apr. 1- Sep.20 @ Sogetsu WEST

*Schedules above are subject to change.

The 102nd Sogetsu Annual Exhibition "My Story - Flowers and Me"

After a gap of two years, the Sogetsu annual exhibition is back!

Together with the Iemoto's solo exhibition at the Atelier, the 102nd exhibition will be a bright and colourful event to end the year 2021.

Date: November 11(Thu) - December 10(Fri), 2021

Hours: 10:30 - 17:30 (Last admission is 17:00)

Venue: Sogetsu Plaza and Lounge @Sogetsu Kaikan Admission: Free

*Following the official guidance, we can only accept applications from domestic STA members. Thank you for your understanding.

<Special Photo Exhibition>

How about placing your Ikebana photo shown on the display instead?

For details of the photo exhibition, please visit the STA members site;

https://members.sogetsu.or.jp/en/login/

*Schedules above are subject to change

< Notice for the Branches/ Study Groups >

[Welcome] Branch/ Study Group event announcement/report on Sogetsu website

Now many official groups plan to hold their event online(exhibition, demonstration, workshop etc.)

Why not invite other overseas members to them by announcing the event on Sogetsu Website?

It would be a great chance to see what other Sogetsu friends are doing anywhere in the world.

Download the announcement/report form online:

https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/

Leaflets (English/ Chinese)

The leaflets for 2021 will be available in April. Each Branch/SG will be entitled to 200 complimentary copies sent by air mail (printed matter) on request.

Download the order form online:

https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/leaflets

Complimentary Quarterly Magazine "Sogetsu"

From Autumn 2021, we will send Magazine "Sogetsu" two issues together to the directors/chairpersons.

(ex. Send Autumn and Winter issues together and

the same for Spring and Summer issues.)

Contact list of the Branches/SGs

We have compiled the contact list of those Branches/SGs who submit the consent letter to the HQ.

For security reasons, we will give this list only upon request. Please download the request form, then send a filled-in form back to the HQ by e-mail.

Download the request form online: https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/forms

We update the list regularly so please let us know immediately if there is any change in your registered information.

If your branch/study group has NOT submitted the consent letter and would like to join the list, please confirm our privacy policy and send the form to the HQ by e-mail.

Download the Privacy policy and consent letter form online:

https://www.sogetsu.or.jp/e/members/downloads/forms

Promotion to the Branch

Chennai Study Group, India, is promoted to Chennai Branch as of May 1.

Our best wishes to the members of the Branch.

<Important>

•Please check your e-mail address and reception setting on your PC or mobile phone.

Have you received e-mails from the HQ recently? If not, please check the following two points.

✓ Your e-mail setting on "reject" e-mails. Are there any from "@sogetsu.or.jp" ?

✓ You changed your e-mail address since you registered as STA members?

Since January 2021, the HQ have sent several e-mails to ALL registered e-mail addresses of the STA members.

However, we received so many "returned" e-mails every time. Mainly because they were invalid e-mail address or were rejected by your host server which recognized them as junk.

Connection by e-mail with members is vital for the HQ, especially since international postal service is still fragile in some areas.

Please check your reception setting. You can confirm your registered e-mail address by visiting "Profile" section of the STA members site and the STA annual fee payment form (pink sheet).

Please contact Services for Membership Department for inquiries. We will appreciate very much your attention to this point.

Services for Membership Department : members@sogetsu.or.jp

the acrylic paints accentuated the venue. The *Iemoto*'s attention to detail was evident everywhere, from the display stand made of a combination of fossil wood and iron to the use of Japanese *Washi* paper on the walls, meaning that the entire venue could be enjoyed as a united single piece of artwork.

During the exhibition period, the *Iemoto* was present at the venue and enjoyed engaging in conversation with visitors. "I hoped that through ikebana, people could connect emotionally with each other and free their hearts." This exhibition conveyed such feelings of the *Iemoto*.

You can enjoy the Akane Teshigahara Solo Exhibition "CONNECT" even more!

- 1 The 3D online viewing will go live onto the Sogetsu School official website. Stills of the venue taken by a 360-degree panoramic camera will be released.
- 2 A conceptual video will be available on the Sogetsu website and social media.
- 3 The Autumn issue of the quarterly magazine Sogetsu, to be published on September 1st, will feature this solo exhibition.



Left: An arch of split bamboo at the entrance of the venue. It goes deep into the back.
Right: A piecework arranged with her original painting as the backdrop.
The lines of dried *Spathodea campanulata* are beautiful.

Information

20th Anniversary Akane Teshigahara Solo Exhibition "RELEASE"

2021 is the special year for Sogetsu School, celebrating the 20th Anniversary of the 4th *Iemoto*, Akane Teshigahara. We are delighted to be back in Tokyo after her successful Solo exhibition "Connect" in Sogetsu WEST.

Don't miss her challenge to new expression and opening of Ikebana.

20th Anniversary Akane Teshigahara Solo Exhibition "RELEASE"

Date: November 12(Fri) - 17(Wed) 2021
Opening Hours: 10:30 - 17:30 (Last admission is 17:00)

Venue: Sogetsu Atelier @Sogetsu Kaikan Annex



One Two Step 26

My life with Ikebana / Ryo Tazawa

Master Instructors of the HQ talk about their thoughts on ikebana and memorable episodes

I don't think there is a predefined or set way of approach about how to create your arrangement. In my case, it is the experience of seeing the material that counts most. Sometimes when I pick up some flower or branch, I am moved or inspired instantaneously on the spot. I find it engaging, exquisite, pleasing. I create my arrangement by putting these materials into the creation one by one and enjoy the transformation and development. It is thrilling to think about my next move.

On the other hand, there are also works based on meticulous consideration. I draw a sketch of the image, make a plan and go step by step by trial and error. However exact the process, the point is "not to go over the top". I want my work to have an atmosphere of effortlessness and incompleteness, which I believe brings out the beauty of ikebana; the spark of life.

Whichever way I work, I won't settle back in a comfortable, pre-established harmonious world. I always bear this motto in mind, but how difficult it is to keep up!

The 3rd *Iemoto* Hiroshi said, "Don't accumulate know-how." Such words with depth and meaning. While being an *ikebanist* for many years, I unconsciously stock knacks and knowledge inside me and sometimes rely on them in my creation.

Ryo Tazawa Born in Yokohama, Kanagawa. She received her initial training of ikebana from her mother Tazawa Tei. While she was studying oil painting at Joshibi University of Art and Design, she studied ikebana under Hayashi Eiri for nearly two years. After she was appointed as a master instructor of Sogetsu Headquarters in 1986, she has taught at the *Iemoto* Class, Teachers' Workshop, Men's Exclusive Class, refresher seminars and classes at cultural centers. She leads the Tazawa Class Shizuku-kai in Yokohama.



田澤 涼 神奈川県横浜に生まれる。母・田澤貞からいけばなのてほどきを受け、女子美術大学洋画科在学中、林映里に約二年間師事。1986年草月会本部講師に就任。家元教室講師、家元研究科講師、男子専科講師、補修セミナー講師、カルチャー教室講師などを歴任。横浜にて田澤教室・零会を主宰。

Another unforgettable phrase from *Iemoto* Hiroshi. "What is good is good", stated at the *Iemoto* class. I hope I can create ikebana which makes people feel that way.

本部講師が語るいけばなへの思い、心に残るエピソード

作品を作るのに決まったアプローチは無いと思っています。私の場合、素材との出会いが大切です。植物なら手に取った瞬間の感動、ヒラメキ、面白い、キレイ、好き、そんなところから一枝挿す毎に次の展開が見えて来るって感じでしょうか。それとは別に時間をかけて作り上げてゆく作品もあります。イメージデッサンを描き計画を立てて一步步試行錯誤しつつ進みます。しかし作り込み過ぎは極力避けます。どこかに抜け感、未完成感が欲しいのです。それがいけばなが持つ生命力の発露につながると考えるからです。どちらの作品を制作するにしても注意すべきは予定調和的な世界でまとめないこと。心掛けていますが難しい。

宏先生の言葉、「引出しを作るな」。ウムとうなってしまう。いけばなに長く携われればどうしても無意識の中に引出しが出来ていくからです。

最後にもう一つの宏先生の忘れられない言葉。「いいものはいんだ」。家元研究会でのご発言です。そんなふうに見る人に感じていただける作品が作れたら、と思います。



Keep Right on Talking! No.77 : Akane Teshigahara

The power to transform a space

I wonder if we would already be in the height of the heat wave when this August issue comes into your hands. We still have to wear masks, but please take care to avoid heatstroke and summer fatigue.

I just finished my solo exhibition, "CONNECT," which was held at Sogetsu WEST from July 1st to 4th in commemoration of the 20th anniversary of my succession as *Iemoto*. In fact, this was my first time holding a solo exhibition in Kansai region. We considered various venues, but came to the conclusion that Sogetsu WEST was the best choice. One of the characteristics of this place is its flexibility. Even the reception area is movable, and it is designed to be a very simple space when desks and other equipment are removed. Even though I had been here many times when celebrating its opening and holding my Teachers' Workshop, the moment I saw the spacious, high-ceilinged, open space, I was instantly inspired to create, and focused on this with a fresh mind.

The first thing I focused on was the bamboo installation. A bamboo arch welcomed visitors, leading to undulating bamboo waves. When we want to curl the bamboo in that way, we have to form it into a spiral shape beforehand so that it naturally keeps that shape, but this time, the period was longer than we had originally planned because the event was postponed by a month due to the spread of the novel coronavirus. However, it worked very well. Thanks to the extended period of curling, the bamboo had more roundness and softer shades of green, so we were able to create a gentle space that gives the feeling of being wrapped in bamboo.

Also, having an exhibition in the summer is relatively rare for me. The materials were radically different from what I usually use for exhibitions, so I had to be creative in my approach, including that element. For the medium-size works, I dared to use only green materials in order to create the freshness of summer. However, in the case of the smaller works, I used a variety of colors for both the materials and the containers, and had great fun arranging them. All the glass vases for the smaller works were what I had made myself in March this year at a glass studio in Gunma. In the past, I had been more reserved in some aspects, thinking, "I don't think that I can create

this kind of design with glass." This time, however, I was quite bold and aggressive from the preliminary sketches. And I'm really happy to find that they turned out to be just as good as, if not even better than I had expected. I learned once again the importance of communicating my wishes properly.

Naturally, at a solo exhibition, only my work is displayed. I must calculate many things, such as how to arrange the pieces and how to balance them with the space. This made me feel more self-conscious and anxious than usual, but I don't like making rigid decisions before time. That is because I believe that the real pleasure and the best part of ikebana are coordinating the materials, vases, space, and other factors as we encounter them at the moment of creation. My predecessor, Hiroshi, also constantly said, "There is nothing more boring than doing something that is set in stone." Of course, this is only possible because I am in a position where I can afford to have all the materials and vases I need, but even if conditions



For this exhibition, I also tried my hand at painting. Using acrylic paints, I painted with brushes of various thicknesses, scraps of T-shirts, and sometimes directly from the tubes. I faced the canvas alone while music of my beloved group Arashi played loudly in the background.

are tight, I would probably try to think about it after homing in on the spot. That is the reason that I was able to successfully hold an exhibition again that the spectators enjoyed.

On the first day of the exhibition, we also live streamed on Instagram. I was glad to see that people from as far away as Kenya and Brazil were watching. What made me most happy was the comments from the people who usually attend classes held at Sogetsu WEST. There were many exclamations of "I can't believe the classroom turned out like this!" It's

Review

Akane Teshigahara Solo Exhibition for 20th Anniversary "CONNECT"

The *Iemoto* Akane held her first solo exhibition in the Kansai region entitled "CONNECT" at Sogetsu WEST in Kyoto from July 1st to 4th. She transformed the new base for Sogetsu in Western Japan into a space wrapped in plants.

The main feature was the bamboo installation. A bamboo archway at the entrance of the venue invited

true. Flowers have the power to transform a space to such an extent. I felt once again that Sogetsu WEST is a very good place for an exhibition, both in terms of space and height. I hope that everyone will make more use of it for exhibitions and events in the future.

I also plan to hold a solo exhibition in Tokyo this autumn at the Sogetsu Atelier behind the Sogetsu Kaikan. I'm very excited already and can't stop thinking about the kind of space I want to create this time. You can expect something amazing.

visitors inside, where they found a space enveloped by undulating split bamboo strips. The *Iemoto's* self-made glass vases, created specifically for this exhibition, also attracted great attention. She arranged roses and leather flowers rhythmically. This time she attempted to paint them for the first time and incorporated them into her work. The free use of colors of



A view of the exhibition room. All the glass vases used were designed by Iemoto.